Sertã

について
セルタン
伝説によれば、セルタン（Sertã）の名は、ルジタニアの貴族の妻に由来するものとされています。この妻は、ローマ人との戦いで夫を亡くした後、城の銃眼から熱く煮えたぎった油で一杯の「セルタン」（フライパン）をローマの軍勢めがけて投げつけたため、ローマ軍はやむなく退散したと言われています。

ローマ人によって築かれた城は、かつてはテンプル騎士団のものでしたが、その後、この地方の開拓に多大な貢献のあったその他さまざまな宗教騎士団が所有することになりました。例えば、ホスピタル騎士団、マルタ騎士団、クラート騎士団などです。今日、城は部分的に崩壊していますが、村を眺めわたすにはなによりの場所となっています。村の見どころは、15世紀の教区教会（Igreja Matriz）です。教会内部では、バロック様式の彫刻と16、17世紀のアズレージョを見ることができます。

付近一帯には、アミオーゾ川（Rio Amioso）とセルタン川（Rio Sertã）が流れ、ゼーゼレ川（Rio Zêzere）流域には貯水池カステロ・デ・ボーデ（Castelo de Bode）、カブリル（Cabril）、ボウサン（Bouçã）が点在しています。また、この地方はヨーロッパ最大の森林地帯の中にあり、そのため木々の緑と水面の青が周囲一面に広がり、自然とのふれあいを楽しみながらリラックスするには理想的な環境となっています。また、各種ウオータースポーツを楽しむなど、アクティブな旅行をすることもできます。

この地方の郷土料理を代表するものとしては、マラーニョス（Maranhos）（ヒツジの臓物と米、鶏肉などの煮込み）や、ブショ・レシェアード（Bucho recheado）（ブタの胃袋の詰物）、各種ソーセージ類です。デザートとしては、カルトゥショス・デ・アメンドア（Cartuchos de amêndoa）（アーモンドコーン）やメレンダス・ドセス（Merendas doces）（甘いパン）が挙げられます。

6月24日のサン・ジョアン祭（Festas de São João）と6月29日の聖ペドロ祭（Festas de São Pedro）を迎えると、村の通りという通りは祭りの熱気でにぎわいます。その他の主な行事には、8月14、15日の聖女レメディオス（Nossa Senhora dos Remédios）の祭りや聖週間祭が挙げられます。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com